



発行所 愛知県山岳連盟
 発行人 安藤 武典
 編集人 中平等 新一
 名古屋市天白区中平3-1902
 TEL&FAX 052-802-8062

◇6月29日(日) 気象遭難対策講習会 (県スポーツ会館) <http://www.geocities.co.jp/Athlete/1653/>

愛知山岳マラソン2014
 猿投山を目指し駆け上がる…



平成26年度愛知岳連定時総会

愛知岳連の更なる活性を!!

平成26年度愛知山岳連盟定時総会が、去る4月19日(土)愛知県スポーツ会館大会議室に於いて午後2時から開催された。

最初に、定足数の報告が岡谷常任理事から56団体と役員16名中、出席者41名、委任状14通の55名と2分の1以上の出席があり、総会成立した旨づけられ、議事が進められた。

まず安藤会長が「昨年度の事業は概ね終了し、反省点もあったので今後には反映させていきたい。今日は総会であり忌憚のないご意見を述べていただき、みんなの岳連を大きく育つよう活動していきましよう」と挨拶。

つづいて各部の報告が、担当常任理事から行われた。

総務部(事務局)から、愛知岳連関係事業と外部関係の事業報告があり、特に昨年は中高年安全登山指導者講習会(東部地区)が愛知県で行われたこともあり、協力の労いが述べられた。

企画部から、県民登山、少年少女登山教室、愛知山岳マラソンが盛況だったこと、また危惧されたスキー大会が実

施できたこと、そして来年度も多数参加の呼びかけがあった。

遭難対策では、当岳連に関する遭難事故は2件あった。そして遭難防止対策委員会の現状報告がされた。

指導部は、昨年度計画された事業は滞りなく終了した。ただ参加者が極端に少ない事業もあり、今後課題とした。

団体選手強化部では、昨年の東京国体で、成年男子ボールドリリングで優勝、リード競技も6位入賞するという快挙もあり、今年度も期待が述べられた。

自然保護部は5件の会議報告、3月末現在の日山協認定の自然保護指導員が32名、北谷小屋管理委員会から、小屋の貸切りが3件の報告。

つづいて高体連から、最近新人大会で1000人を超える参加があり、その対応に多忙をきわめたなどの報告。

最後は広報部から「岳連ニュース」の発行状況、寄稿された方への感謝、今後も協力をお願いがあった。

以上のように各部の報告が述べられ、若干の質疑がかわ

されて終了した。
次に、平成25年度決算報告が丹羽財務担当から行われ、丹羽三郎理事の監査報告があつて承認された。
つづいて平成26年度事業計画及び予算案が審議され、承認された。

御岳で雪上技術講習会を実施

雪洞掘りや負傷者の雪上搬送など

愛知岳連雪上技術講習会が3月1日(土)、2日(日)の2日間おんたけスキー場周辺において実施され23人が参加した。

第1日目、8時に受付が開かれ、開校式につづいて実技講習が2班に分かれて行われた。

Aコースは「雪山登山における装備と歩行技術の習得」

・雪山での支点(アンカー)・ビバーク(ツェルト)の使用法、雪洞の掘り方)・埋没体験などを実施した。また、Bコースは「雪山でのビバーク、確保技術の習得」で、緊急退避の対応「アンカー支点の構築と様々な支点の取り方などを行った。ただ、午前中は天候が悪く、講習内容を短縮し午後3時30分終了した。その後、ス

その他では、愛知岳連の財産・備品に関する件、JRR東海と小牧山岳会、名古屋白稜会が退会。役員名簿作成に当たり会員登録の件などがあつて、最後は伊藤副会長が閉会の挨拶をして終了となった。

スキー場脇で各自がテントを設営、夜は受講生、講師を交えて懇親を深めた。

2日目は、心配された天候も回復し、Aコースは雪上歩行や滑落停止を重点に、Bコースは、負傷者の雪上での搬送、ビーコン捜索を主として実施した。

15時、すべての講習を終了し、閉校式の後、解散した。

講習会に参加して

豊田山岳会

久山 千春

2日間にわたり雪上訓練が行われました。私はAコースの講師補助として参加させていただきました。Aコースにはほとんど雪山を歩いたことがない人、雪山を歩くための



負傷者の雪上搬送

道具がまだそろっていない方もいたことから、初日の始まりは机上講習を行ってから雪上に向かいました。
雪山が初めての方、これから積極的に雪山に入りたい方に対して安全のために何が必要なのか、私は何を伝えたいのか、何を感じてもらいたいのかなどを考えながら進めました。
訓練の内容はツボ足歩行、アイゼンを装着しての歩行、滑落停止訓練等ですが、受講された方々がそれぞれ色々なことを感じられたのではないのでしょうか。

また、緊急下においての雪洞の有効性と掘ることの大変さ、雪崩に巻き込まれた際の埋没体験など、雪山での楽しさはリスクと隣り合わせであることなども少しは伝えられたと思います。

2日目には、ビーコンを使用した埋没者の捜索訓練を行いました。入山前のグルーブチェックの必要性、埋まり方による電波のとらえ方の違い、機種の違いによる使い勝手の差なども感じてもらいました。早く、正確にサーチするためには大切な訓練ができたと思います。

最後に、今回受講された方々が安全で、実りある山行をしていただけると嬉しく思います。

内容の濃い講習

岡崎山岳会

齊藤 孝洋

今回、愛知岳連の雪上訓練Bコースに参加させていただきました。所属している山岳会にて歩行訓練等は習得しているため、ステップアップをしたくBコースを受講しました。

受講1日目は雪上でのアンカー構築、スタンディングアックスブレイ、ビーコン捜索、発見後の掘り出し方法を学びました。雪上でのアンカー構築では様々な方法を学びました。実際に雪上でアンカー構築を行うのは初めての事でした。
今回は立木、ビッケル、スノーバー、土囊袋等を使った

名古屋・伏見 長者町の山用品専門店

MOUNT & OUTDOOR GOODS PRO SHOP
ステラアルピーナ
(旧シャツパーム)

名古屋市中区錦二丁目5-31 長者町相互ビル2F ☎052-231-0739

営業時間/11:00~8:30pm(日曜日は7:00pm迄)

安心して選べる三河地区
のPROショップ
JR刈谷駅前



登山用品豊富!

穂高

〒448 刈谷市桜町1-13
TEL0566(23)8611

定休日/火曜日
営業時間/10:00~20:00

アンカー構築を学びました。中でも土嚢袋を使ったアンカー構築には驚きました。土嚢袋自体に強度がある事、軽く高張らないので常にザックの中に入れておける事に感動しました。どの雪上アンカー構築でも大切な事は絶対にスリング等がアンカーより各側にある事だと知りました。スタンディングアックスビレイでは、荷重がかかったときの自己脱出の難しさを体感しました。今回は、大人三人分の荷重がかかった状態からの自己脱出を行いました。立っているだけでやつとの状態から、しゃがんでザイルの確保を行うのですが、しゃがんでしまうと体が押し潰されてしまい、確保するまで時間がかかり過ぎてしまいます。実際に現場で行う事を想像しただけでゾッとしてみます。

事を想像していましたが、今回教えていただいた方法はV字コンベア方法でした。捜索者がV字に並び、先頭者が掘り出した雪を後方者が後ろに流していく方法で、先頭者に負担がかかってしまうため、ラッセルのように交代しながら掘り出す方法です。最後に掘り出し方法で使用したゲレンデを皆でならし、テント場を作り各班のテント設置を行い一日目の講習は終了しました。

夜は恒例の宴会で盛り上がりましたが、夜勤明けで睡眠不足の僕は、一番盛り上がりつつあるさなかに寝てしまい非常に残念でした。

二日目の講習は、現場を想定した支点確保と負傷者の搬送方法でした。ザイルを使った支点確保、スリングを使った支点確保を学びました。講師が簡単に行っている結び方が、僕にはできませんでした。登攀技術が乏しい僕には難しい講習でしたが、講師や経験豊富な参加者の方が丁寧に教えてくださったおかげで、色々な結び方を学ぶ事が出来ました。器具を使用せずザイルだけで支点確保し、下降後にザイルを回収する方法には驚きました。ザイルを編み込みみ込みが解け回収できる結び

方です。名前を聞きましたが覚えられません。色々と教えてもらった結び方は、ビーコン同様現場で覚えるものではなく、講習会等で学んだ事を何度も練習し習得する事の大切さを知りました。

搬送方法ではシートを使用し負傷者を運ぶ方法です。カラビナ、スリング、ザイルを使用し負傷者をシートに包ん

で搬送します。今回は実際に人をシートで包んで行いました。6名で行いましたが、持ち上げての搬送やザイルを使用し引き上げる方法ではかなり楽に行えました。

今回の講習で学んだ事を何度も練習して、自分自身が習得して後輩に教えていきたいと思えます。

二日間、ありがとうございました。

愛知山岳マラソン2014

73選手が猿投山頂へ駆け登る!!

愛知山岳マラソンが、3月8日(土)豊田市・猿投山において開催しました。

参加選手は、高校男子43人、女子6人、一般男子21人、女子3人の73人でした。

スタート時の気温は6.5℃で少し風があり、肌寒い状態でしたが10時にスタートし、ゴールの猿投山山頂を目指して駆け登りました。

ゴールの山頂(629m)は、うっすら雪化粧していてかなり冷え込んでいましたがすべての選手が、関門時間をクリアして元気にゴールしました。(山瀬幹生)

上位入賞者は次のとおり

- (男子の部)
- ①柴田幸生(瀬戸消防) 28分01秒
 - ②山本将平(幸田高校陸上競技部) 28分12秒
 - ③和田為蔵(小垣JJC) 29分30秒
- (女子の部)
- ①小久保安純(幸田高校陸上競技部) 40分05秒
 - ②平松愛佳(〃) 40分06秒
 - ③大岬可奈(〃) 41分25秒

マラソンに参加して

うなぎ錦三丁目 い ば しょう

いばしょう

〒460-0003 名古屋市中区錦三丁目13番22号
TEL:052-951-1166 番

営業時間 午前 11:00~午後 2:30
午後 4:00~午後 8:00

定休日 日曜日・第二・第三月曜日

観光庁長官登録旅行業第490号/(社)日本旅行業協会正会員

ALPINE ツアー サービス

海外トレッキング/世界の山旅 専門旅行会社
まずは「ツアーカタログ」ご請求下さい
個人&グループでのご利用お待ち申し上げます

名古屋営業所 TEL: 052-581-3211

〒450-0002 名古屋市中村区名駅3-23-6 第2千福ビル8階
FAX: 052-561-8338 E-mail: nagoya@alpine-tour.com
ホームページ http://www.alpine-tour.com